

### 3 基礎学力の向上を図る学習指導

- (1) 基礎・基本の定着を図る指導計画の工夫改善
- ① 学習指導要領の目標と内容を踏まえるとともに、各教科等及び各学年間・校種間の関連を図る。
  - ② 自校の課題を明らかにして指導内容の重点化を図り、児童生徒の実態に即した指導方法等の工夫改善に取り組む。
  - ③ 児童生徒に求められる資質・能力を育成するために、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行う。
- (2) 児童生徒が生き生きと取り組む学習活動の充実
- ① 全ての児童生徒が安心して学習に取り組み、自己有用感を高めることができるように、受容と共感に支えられた授業づくりを推進する。
  - ② 授業の様々な場面で一人一人に学習の必要感をもたせ、見通しや振り返りの活動を充実させることで、主体的に学ぶ態度を育む。
  - ③ 言語活動を効果的に位置付け、児童生徒が「問い」を発して学び合うことで、自己の考えを広げ深められるようにする。
  - ④ 習得・活用・探究という学びの過程において、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせるための手立てを工夫することで、より質の高い学びの実現に努める。
  - ⑤ 目的に応じた指導方法や指導体制を工夫し、個に応じた指導の充実を図ることで、全ての児童生徒に分かる・できる喜びを実感させる。
  - ⑥ 学んだことが、身近な地域や社会の中で生活と関連していることに気付き、学びの意義や価値を実感できるような学習活動を充実させる。
- (3) 授業改善につながる評価の工夫
- ① ねらいを達成した児童生徒の学習状況を具体的に示した評価規準を設定し、評価の場面や方法を工夫することによって、学習の過程や成果を適切に評価し、指導の改善につなげる。
  - ② 諸調査の結果を分析し、児童生徒の学習状況等に応じた指導方法等の工夫改善に生かす。

### 4 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

- (1) 信頼され魅力ある教職員を目指す自己研修
- ① 秋田県教員育成指標に基づき、人事評価システムにおける自己目標等との関連を図りながら計画的・継続的に研修を進め、キャリアステップや職務に応じた実践的指導力を高める。
  - ② 課題意識をもって学校内外の研修に努め、教職員としての視野を広げ、専門性を高める。
- (2) 学校を活性化させるための研修
- ① 自校の特色や教育課題等を共通理解した上で、全校体制によるPDCAサイクルを生かした研修の工夫・充実を図る。
  - ② 全教職員が教職経験者研修に関わるように研修体制を工夫し、OJT等を通じて互いに学び合う研修を充実させる。
  - ③ 地域や学校内外への積極的な授業の公開や、校種間連携による研修を進め、学校全体としての教育力向上を図る。
  - ④ 各教科等の学習を通してふるさとへの愛着心を醸成し、ふるさとに生きる意欲を喚起するために、地域との連携・協働に関する研修を充実させる。
- (3) 今日的な教育課題に対応するための研修
- ① 新学習指導要領の趣旨や内容について、教職員一人一人が理解を深め、自校のこれまでの研究実践を捉え直し、課題改善に向けた研修を充実させる。
  - ② インクルーシブ教育システムの理念の下に、個別の教育的ニーズのある児童生徒の理解や合理的配慮を踏まえた指導・支援について、全校体制による研修を充実させる。
  - ③ 学校いじめ防止基本方針に基づく適切な対応、問題行動や不登校の未然防止及び早期発見・即時対応ができるよう、生徒指導の機能を高める研修を充実させる。
  - ④ 「自分の命は自分で守ることのできる」児童生徒の育成を図る観点から、児童生徒や学校、地域の実態及び児童生徒の発達の段階に応じた防災教育を充実させる研修を推進する。